

不妊と男性の セクシュアリティ

不妊の問題は、産む性である女性の問題というように捉えられがちである。しかし、1997年に発表された世界保健機関（WHO）の調査結果では、女性のみの不妊の原因がある場合が41%、男性のみ原因がある場合が24%、男女ともに原因がある場合が24%、原因不明が11%であり、不妊原因の約半分に男性がかかわっていることが示された。不妊男性を対象とした研究調査は国内外ともにあまり多くなく、不妊とわかった男性たちが不妊という状況とどのように向き合っているのか、それもよく知られていない。そこで、本セミナーでは、2人の日本人研究者を招き、「不妊と男性のセクシュアリティ」をテーマに議論をすすめる。



由井秀樹 (山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座 特任助教)

「戦後日本における男性不妊の語られ方」



竹家一美 (お茶の水女子大学 非常勤講師)

「男性不妊の医療化と男性性」

司会

仙波由加里 (お茶の水女子大学ジェンダー研究所)

2021年11月26日(金) 17:00~18:30

オンライン開催
(ZOOM Webinar)

事前申込・登録制 (参加無料)
右のQRコードか当研究所のHPからお申し込みください

お問合せ：ジェンダー研究所 igsoffice@cc.ocha.ac.jp

